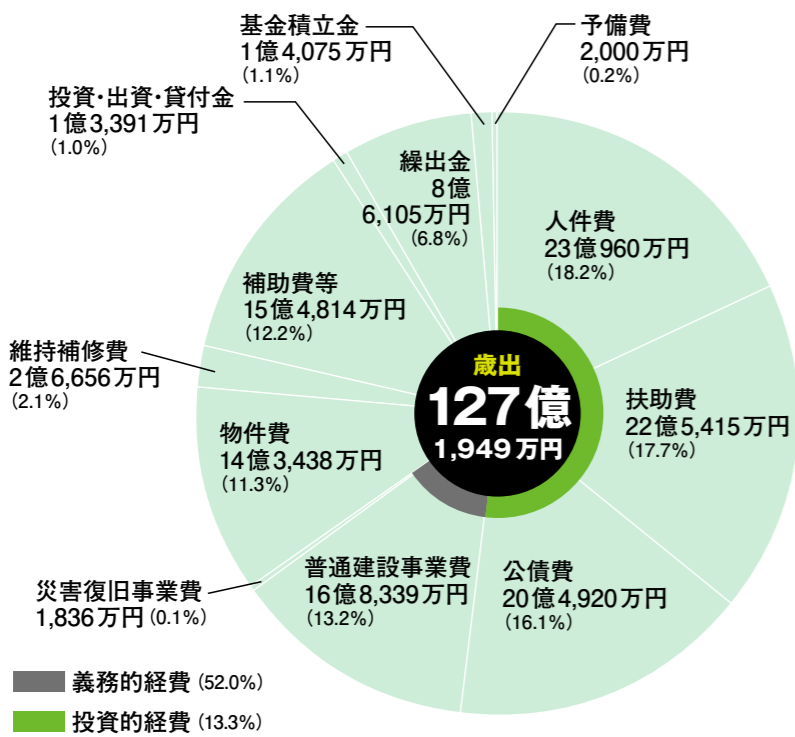
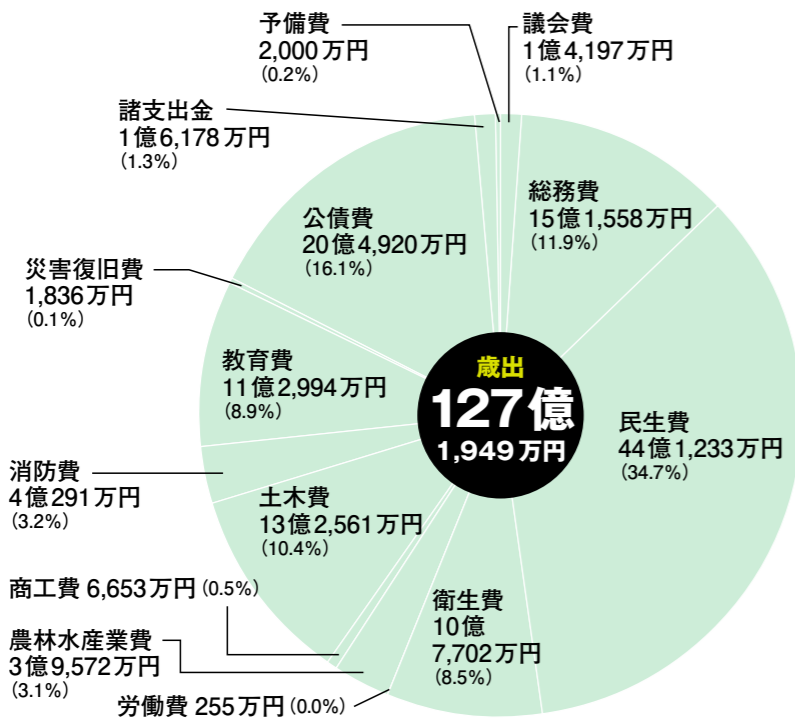


※金額が少額のため、「0%」表示になっているところがあります。



歳出 5割を超す義務的経費が財政硬直化を示す

▶ 「性質別」と「目的別」のグラフは、ともに一般会計の歳出を表したグラフです。目的別歳出では、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。一方、性質別歳出には、支出が義務付けられている、人件費や扶助費、公債費の「義務的経費」と公共施設の建設など、行政水準の向上にかかる建設事業費の「投資的経費」に分けることができます。この歳出を前年度の当初予算と比較した場合、人件費が5千万円の減額、扶助費が1億 9,200 万円の増額、公債費が前年度の繰上償還の影響もあり、4億 1,700 万円の減額、さらに普通建設事業費が17億円の大減額となっています。この大幅減額の要因は、前年度赤池中学校改築事業費を16億 5,500万円計上していたためです。

【一般会計 歳出 目的別】

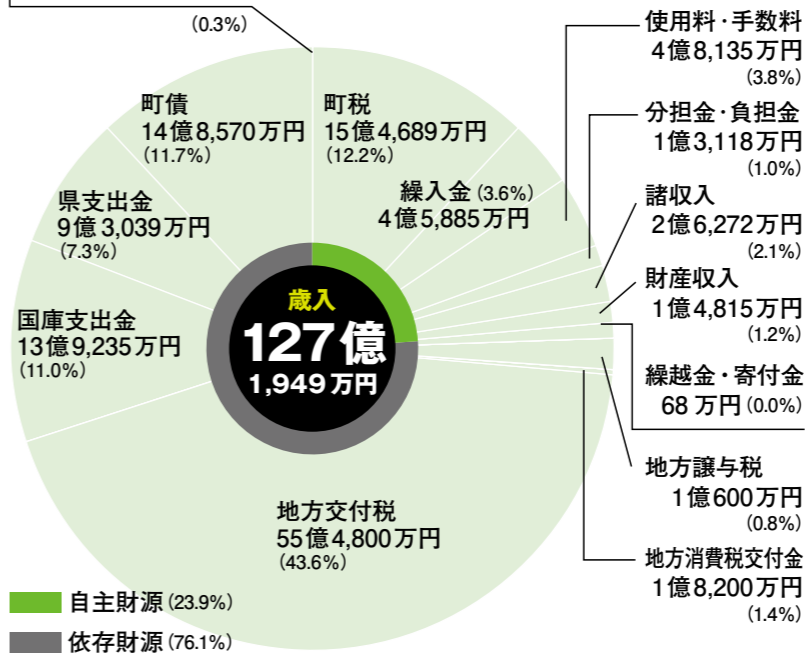


【一般会計 歳出 性質別】

支出を抑制しつつ、限られた範囲の中で将来への投資。町では、見直しを図った中期財政計画(5か年計画)を軸に、町政を運営し、具体的な数値目標を掲げながら、着実に財政健全化へと近づけていきます。

※金額が少額のため、「0%」表示になっているところがあります。

利子割交付金...380万円 配当割交付金...260万円
自動車取得税交付金...3,100万円 地方特例交付金...280万円
交通安全対策特別交付金...444万円 株式等譲渡所得割交付金 30万円
ゴルフ場利用税交付金...29万円



歳入 町の自主財源は全体のわずか23.9%

▶ 一般会計の歳入は、前年度と比較し約18億 2,000 万円減少(▲12.5%)しています。予算規模は大幅に縮小していますが、財源不足を補う財政対策基金繰入金(財政調整、減債、預貯金の取崩し)で収支の均衡を保つ予算編成は以前と変わらず、厳しい財政状況となっています。町に入ってくるお金(歳入)には、様々な種類がありますが、大きく分類すると、税収入など町の自主的な収入「自主財源」と、国や県およびその他機関等の意思決定に基づく収入「依存財源」に分けられ、この自主財源が多額なほど、行政サービス等行財政の安定性が確保されます。グラフが示すとおり、本町の自主財源は収入全体の約24%と、前年度と比較し3.9%増加しているものの、依然として財政基盤の脆弱さを表しています。

【一般会計 歳入】

【特別会計】

特別会計	予算等金額	
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億 301万円	
国民健康保険事業特別会計	44億 7,370万円	
後期高齢者医療特別会計	2億 8,939万円	
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	8億 7,024万円	
田川郡町村公平委員会特別会計	127万円	
水道事業会計	収益的収入	5億 7,175万円
	収益的支出	5億 7,175万円
	資本的収入	1億 225万円
	資本的支出	2億 3,296万円

平成25年度の町の予算がまとまりました。予算総額は前年度より12.5%減の127億1,949万円。この財源がまちづくりにとってどう生かされるのでしょうか。予算書の中から、その概要をお知らせします。

平成25年度

予算書